

SDT

制振工学研究会通信

SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS

2010年7月号

2010年 7月 1日発行
編集者：会報編集委員会
編集責任者：小白井 敏明
担当者：立石 覚
URL <http://www.sdt-jp.com>
E-Mail: sdt@mbi.nifty.com

◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL: yamagu@pc.highway.ne.jp

◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名称	内容
10.08.04 13:00~17:00	日本合成樹脂技術協会 会議室	事例研究発表会	裏面参照
10.08.26 13:00~19:00	中小企業会館9F 講堂	第23回定期総会	総会・特別講演会・懇親会

◇委員会・分科会・WGの予定

開催日時	開催地・会場	名称
10.07.07 13:00~17:00	スペクトリス(株)2F 会議室C,D	計測評価技術分科会、粘弾性特性比較検討WG
10.07.16 13:00~17:00	スペクトリス(株)2F 会議室C,D	計測評価技術分科会、音響管計測WG
10.07.23 14:00~17:00	リオン(株) 会議室	会報編集委員会・ホームページWG、会報編集委員会

◇会員消息 (2010年 7月 1日現在)

○会員数		○入会者
法人会員	36 社	—
個人会員	60 人	—

◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名称	主催団体及び内容
10.07.06	鹿島技術研究所 (東京都・調布市)	建築音響研究会 テーマ：吸音遮音技術とその応用	日本音響学会 http://www.asj.gr.jp/
10.07.08	東京理科大学森戸記念館 (東京都・新宿区)	第46回夏期講座 ソフトラリアル：基礎と現状を見つめ直して近未来へ	日本ゴム協会 http://www.srij.or.jp/
10.07.08-09	中央大学・後楽園キャンパス (東京都・文京区)	数値解析技術・基礎セミナー(座学)(実習)	日本モーダル解析協議会 http://www.modal.jp/seminar/seminar.html
10.07.26-28	東京大学生産技術研究所 (東京都・目黒区)	第18回音響技術セミナー 道路交通騒音の予測モデルASJTN-Model2008 と建設工事騒音予測モデルASJCN-Model2007	日本音響学会 http://www.asj.gr.jp/
10.07.29-30	日本材料学会会議室 (京都市・左京区)	第40回初心者のための有限要素法講習会 第1部 基礎コース	日本材料学会 http://www.jsms.jp/
10.08.01-03	シェラザード白馬 (長野県・北安曇郡)	第13回サマセミナー 音響学の基礎と最近のトピックス	日本音響学会 http://www.asj.gr.jp/

◇技術情報

研究機関のご紹介

地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター

〒689-1112 鳥取市若葉台南 7-1-1

電話:0857-38-6200 (代表) <http://www.tiit.or.jp/>

電子・有機素材研究所
応用電子科 小谷章二

当センターは、「産業技術に関する試験研究及びその成果の普及を推進するとともに、ものづくり分野における技術支援、人材育成等を積極的に展開することにより、鳥取県の産業活力の強化を図り、もって経済の発展及び県民生活の向上に寄与すること(定款より)」を目的として、鳥取県が設立した地方独立行政法人です。

前身を遡れば、大正12年に設立された鳥取県工業試験場と昭和23年に設立された鳥取県食品加工研究所が、様々な変遷を経て、平成10年の機構改革により鳥取県産業技術センターという名称で組織統合され、平成19年4月からは鳥取県から独立して再出発しています。

(裏面へ続く)

当センターは、鳥取、米子、境港の3カ所に施設が配置されています。各施設の研究部門は、それぞれ電子・有機素材研究所、機械素材研究所、食品開発研究所として組織され、総務・企画本部機能を総務企画部として鳥取施設に配置した組織構成となっています。

主な業務は、県内企業の技術力向上につながるシーズ研究・実用化研究・共同研究等の研究開発、技術開発・技術改善・新商品開発などにかかる技術相談、技術課題解決等のための企業への現地調査や技術指導、各種の試験・研究のための機器利用・施設開放に係る業務の他、ものづくり分野における産業人材の育成、高度専門人材の育成に務めています。

音響・振動に係る試験研究指導の業務は、電子・有機素材研究所応用電子科が担当しています。

主な設備としては、鳥取施設実験棟に無響室(4m×4m×4m)と残響室2室(155m³、58m³)で構成する音響環境試験室を有し、12chまで同時測定可能な計測器のもと、音響・振動に係る基本測定のほか、残響室法吸音率測定、音響透過損失測定、音響パワーレベル測定、超音波音圧測定などが実施できる測定環境を整えています。振動試験は、温湿度サイクル試験環境のもとでも振動試験が可能となる複合振動衝撃試験器(最大搭載量140kg)を用意しています。また、吸音管を用いた垂直入射吸音率測定、ハンディ騒音計・振動計による環境騒音・振動測定、ヘッド&トルソを使用したバイノーラル録音による音質評価にも対応できる機器も揃えて、鳥取県内を中心に企業の研究開発の支援を行っています。

音響環境試験に係る設備の利用は、試験室、装置を時間あたりで使用していただく形態を取っています。利用料等は、当センターのホームページをご参照ください。

その他、応用電子科では、製品のEMC電磁環境試験、組込みシステム開発に係る人材の育成、LED照明等光学技術に係る人材養成、電子部品の信頼性向上にも力を注いでいます。

最後に、県内県外を問わず幅広く対応していますので、気軽にお問い合わせください。

〈事例研究発表会のご案内〉

- * 開催日程:2010年8月4日(水) 13:00~17:00
開催場所:東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館内5F.
(社)日本合成樹脂技術協会会議室

参加費:無料

- * 内 容:

- 粘弾性測定装置を使用した粘弾性特性測定結果と課題
- 粘弾性測定装置を使用して粘弾性特性を測定する場合の測定ノウハウ(試験条件や注意点など)
- 粘弾性測定装置のマスター・カーブのアルゴリズムなど

- * 発表題目及び発表者

- (1) 発表タイトル: 引張、剪断等の試験条件の設定について
発表者: 宇野 肇 (株式会社 ユービーエム)
- (2) 発表タイトル: 動的粘弾性測定のノウハウ
発表者: 大久保 信明 (エスアイアイ・ナノテクノロジー 株式会社)
- (3) 発表タイトル: 動的粘弾性測定について
発表者: 外口 裕章 (株式会社 東洋精機製作所)
- (4) 発表タイトル: 粘弾性測定装置を使用した粘弾性特性測定結果 (粘弾性特性比較検討WG報告)
発表者: 高橋 里佳 (古河電気工業株式会社)

事務窓口	〒101-0061東京都中央区銀座2-10-18 社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261 Fax. 03-3543-0619
	URL http://www.sdt-jp.com E-Mail: sdt@mbi.nifty.com